

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
法医学	必修	講義 6 実習 1	3	3	月～金	森晋二郎（法医学）

【科目名の英文】 Forensic Medicine

【授業の概要】

法医学は、社会の治安維持、福祉増進、法律の公正な適用に必要な医学的事項について研究する学問である。法医学は応用医学であることから、これまでに履修した基礎医学・社会医学・臨床医学の基本的知識が必要となるため、必要に応じて復習することが求められる。

【具体的な到達目標】

以下の三つの柱を主体とし、卒後の実践に応用できるような法医学を重点とした、理解力・問題解決能力を習得する。

- ①法学の正確な理解（特に死亡診断書（死体検案書）の正しい書き方）.
- ②人の死に方（内因死・外因死）の区別とその応用
- ③個人識別
 - 《法医学と関連法規》
 - ① 医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる.
 - ② 医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる.
 - ③ 死亡診断書（死体検案書）が正しく書ける.
 - ④ 異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる.
 - ⑤ 病理解剖、法医解剖（司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖）を説明できる.
 - ⑥ 診断書、検案書、証明書（診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）を説明できる.
 - 《人の死》
 - ① 死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる.
 - ② 植物状態と脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる.
 - ③ 内因死と外因死について取り扱いの説明ができる.
 - ④ 外因死について病態生理が説明できる.
 - ⑤ 内因死について病態生理及びその検査方法について説明ができる.
 - ⑥ 医療関連死を説明できる.
 - 《血液型と DNA 多型》
 - ① 個人識別の方法と原理を説明できる.

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	法医学	概論（医師と法律・異状死体）	法医学・森	講義
2	法医学	死因論	法医学・森	講義
3	法医学	死亡診断書の書き方	法医学・森	講義
4・5	法医学	死体現象 1・2	法医学・森	講義
7	法医学	頭部損傷	法医学・村田	講義
8	法医学	中毒総論	法医学・村田	講義
9・10	法医学	中毒各論 1・2	法医学・村田	講義
12・13	法医学	損傷 1・2	法医学・森	講義
14	法医学	交通事故・日常の事故	法医学・森	講義
15	法医学	異常環境下における死	法医学・森	講義
17～19	法医学	窒息 1・2・3	法医学・貝森	講義
20	法医学	内因死	法医学・貝森	講義
22～24	法医学	血液型・DNA 多型	非常勤・佐野	講義

25～27	法医学	医療事故と民事責任	非常勤・下田	講義
28	法医学	法医学的検査	法医学・森	講義
29	法医学	法医学トピックス	法医学・森	講義
30	法医学	周産期・小児の法医学	法医学・森	講義
6・11 16・21 31・32	法医学	死亡診断書実習と解説	法医学・森 法医学・村田 法医学・貝森	実習

【学生が寄り深く学ぶための工夫】

法医学領域のみならず，卒後の研修医として死亡診断書（死体検案書）が正確に記載できるよう，数多くの症例を使用した実習を実施する

【アクティブラーニングの内容】

死亡診断書（死体検案書）作成実習

【その他の工夫】

より実践的な症例を扱った実習

【時間外学修の内容と時間の目安】

これまでに履修した基礎医学・臨床医学の基本的知識が必要となるため，必要に応じてこれらを復習することが求められる（12h）

【教科書】

- ・法医学（福島弘文編，2022年 第4版，南山堂）
- ・死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル（令和5年度版）／厚生労働省医政局・政策統括官（統計・情報政策，政策評価担当）

【参考書】

- ・カラーアトラス法医学（若杉編，金原出版，1990）

【成績評価方法及び評価の割合】

試験成績・死亡診断書実習を総合的に評価する。

【注意事項】

症例は教科書のみならず事例スライドを多用し，試験においてもこれを使用する事がある。
講義の録音，スライドの撮影は厳禁。

【備考】

教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	医師
教員以外で指導に関わる実務経験の有無	<input type="radio"/>	法学部教授，医師
実務経験をいかした教育内容	講義には解剖施設における実務経験に関する内容が含まれる	
授業形式	対面授業	